

2. 「平成24年音響基礎講習会」報告

本会主催の「平成24年音響基礎講習会」が7月3日(火)、吉野石膏虎ノ門ビル大会議室において開催された。本講習会は、今年で4回目の開催となった。本講習会は、音響の基礎を学びなおしたい方や業務で音の知識が必要になった方、新入社員などを対象として、音響の基礎を学ぶための講習会である。受講者は58名であった。講習会の内容は、以下の通りである。

〔講習内容〕

1. 音の基礎
2. 音響材料について
3. 騒音・振動の防止
4. 室内音場
5. 音響測定

内容的には、大学での1年間の講義内容を1日で説明するので、細部の説明は省かざるを得ないが、音響の概要を解りやすく説明するような内容としている。

1. 音の基礎は、音とはからはじまり、音の伝わり方、音の基本現象、音の三要素、dBや法規制についての説明があった。

2. 音響材料については、材料のサンプルを提示しながら吸音、遮音、制振、防振についての説明があり、イメージがつかみやすかったようである。

3. 騒音・振動の防止では、規格に示されているグラフの見方から始まり、騒音防止設計の手順、部位別の遮音構造などの説明があった。

4. 室内音響では、さまざまな室内の音場の目標とすべき設計値とその方法および音響障害に対する対策前後の効果を実際の現場の事例を設計者の立場から説明するとともに対策前後の音の提示により効果が受講者にも把握できた。

5. 音響測定は、測定機器類を展示して、測定方法の説明とともに実際にスピーカから音を出しながらレベルの大きさ、音の種類、音カメラなどのデモンストレーションを行った。デモンストレーションは、音の大

きさとレベルとを対比しながらさまざまな音を提示して、音の大きさを体感できる内容となっていて、好評であった。

また、終了後の講義内容の難易度についてのアンケート結果でもおおむね"ちょうど良かった"との回答をいただいた。しかし、アンケートには、「説明が解らない部分があった」や「説明がもう少しほしかった。」などの貴重なご意見をいただきました。これらのご意見は、今後の講習会の内容に反映していきたいと考えている。



写真1 講習会風景

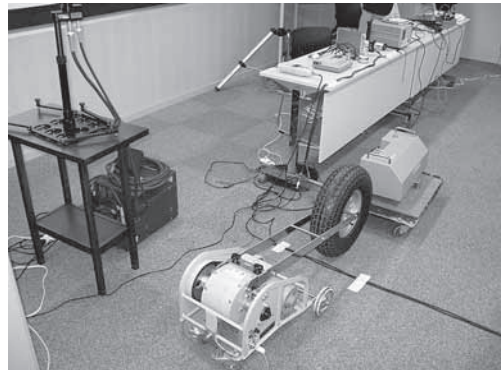


写真2 騒音振動関係測定機器展示

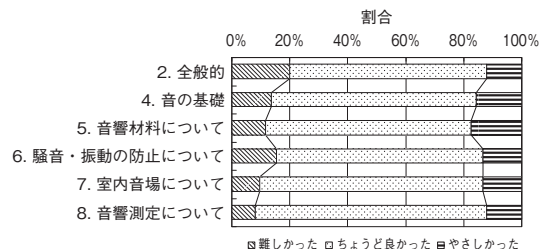


図1 講習会内容のアンケート結果